

健康ぷらざ

No.374

企画:日本医師会

インフルエンザ予防はワクチン、 治療は48時間以内に！

世界的に新型インフルエンザが流行した際、

日本は死亡率を最低限に抑えることができました。

それは、インフルエンザウイルスが体内で増えるのを抑える

抗インフルエンザ薬による治療が

ほぼ完璧に行われたことによるもので、

世界から高く評価されています。

治療は48時間以内に開始することが大切です。

突然の高熱など、インフルエンザかもしれないと思ったら、

早めにかかりつけの医師を受診しましょう。

インフルエンザの予防にはワクチンを接種しましょう。

乳幼児や65歳以上の高齢者と、

糖尿病、心臓病、喘息などの慢性疾患のある人は、

流行前の11月末頃までに接種するのが理想的です。

また、健康な大人や学生もできるだけワクチンを受けましょう。

本人の予防だけではなく、インフルエンザ患者が減ることで、

間接的に乳幼児や高齢者などリスクの高い人たちを

インフルエンザから守るようになります。

